

事務事業名	21215 公園事務費													
担当組織	環境経済部 みどり公園課								担当	公園担当				
組織コード	H29	15	06	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	H29	01	08	04	06	02	01	記入日	平成29年06月06日
	H28	15	06	00		H28	01	08	04	06	02	01		

1. 事務事業の概要

総合振興計画上の位置づけ												実施計画候補
基本目標	04	緑と潤いのあるまち										○ 対象 ● 対象外
分野	02	公園・水辺										
施策	40	魅力ある公園づくり										
事業期間	平成17年度～平成32年度											
根拠法令 通達等											関連計画 施政方針	
事業区分	<input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> 自治事務のうち義務的なもの ● 自治事務のうち任意のもの											
ISO14001	<input type="radio"/> 1. 環境創出事業 <input type="radio"/> 2. 施設方針書 <input type="radio"/> 3. 環境配慮事業 ● 4. 対象外											
対象												
事業目的	※予算編成用シート（指標等未設定）											
事業内容	※予算編成用シート（指標等未設定）											
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市による単独直営 <input type="checkbox"/> 委託（ <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO） <input type="checkbox"/> 協働・協力（ ）											

2. 実施結果

事業の 予算・実績	事業内容		平成28年度 執行額（千円）	平成29年度 予算額（千円）	平成30年度 計画額（千円）	平成31年度 計画額（千円）	平成32年度 計画額（千円）	
			課内事務必要経費					
事業費			1,810	2,434	2,437	2,437	2,437	
財源内訳	国庫支出金		0	0	0	0	0	
	県支出金		0	0	0	0	0	
	起債		0	0	0	0	0	
	その他		0	4	4	0	0	
	一般財源		1,810	2,430	2,433	2,437	2,437	
人件費			0	13,081.59	13,081.59	13,081.59	13,081.59	
投入 人員	常勤職員		0人	1.91人	1.91人	1.91人	1.91人	
	非常勤職員		0人	0.06人	0.06人	0.06人	0.06人	
事業費+人件費			1,810	15,516	15,519	15,519	15,519	
目標達成 状況	指標名		単位	説明・算定式		H27目標 H27実績	H28目標 H28実績	H29目標 H29実績
	活動①							-
	活動②							-
	成果①							-
	成果②							-
	目標達成 状況 の分析		- : 未設定 <判断理由>					

3. 評価結果

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	26年度	27年度	28年度	－：未設定
	－	－	－	<判断理由>
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	26年度	27年度	28年度	－：未設定
	－	－	－	<判断理由>
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	26年度	27年度	28年度	－：未設定
	－	－	－	<判断理由>
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	26年度	27年度	28年度	－：未設定
	－	－	－	<判断理由>

4. 平成28年度中に実施した見直し内容

見直し内容	
見直しの効果	

5. 今後の方針

事業の方向性	<input type="radio"/> 1 現状で継続 <input type="radio"/> 2 拡大して継続 <input type="radio"/> 3 縮小して継続 <input type="radio"/> 4 他事業と統合 <input type="radio"/> 5 休止 <input type="radio"/> 6 その他見直し <input type="radio"/> 平成30年度で終了 <input type="radio"/> 平成29年度で終了 <input type="radio"/> 平成28年度で終了
	<判断理由>
今後の取組方針	

事務事業名	7546 ちびっ子プール補助金事業													
担当組織	環境経済部 みどり公園課								担当	公園担当				
組織コード	H29	15	06	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	H29	01	08	04	06	03	01	記入日	平成29年06月06日
	H28	15	06	00		H28	01	08	04	06	03	01		

1. 事務事業の概要

総合振興計画上の位置づけ		実施計画候補
基本目標	04 緑と潤いのあるまち	○ 対象 ● 対象外
分野	02 公園・水辺	
施策	40 魅力ある公園づくり	
事業期間	昭和46年度～平成32年度	
根拠法令 通達等		関連計画 施政方針
事業区分	○ 法定受託事務 ○ 自治事務のうち義務的なもの ● 自治事務のうち任意のもの	
ISO14001	○ 1. 環境創出事業 ○ 2. 施設方針書 ○ 3. 環境配慮事業 ● 4. 対象外	
対象	戸田市民（幼児）	
事業目的	町会地域内の親と子の心のふれあいの場として、ちびっ子プールを設置し、近隣社会の意識の高揚と健康で心豊かな人間づくりに寄与する	
事業内容	該当する町会の創意工夫により、安全で楽しく、ちびっ子プールの運営が行えるように補助金を交付する各町会に、ちびっこプールを、原則7～8月末までの期間に、14回以上開催することを伝えた上で、開設期間及び実施日時の設定を任せている	
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市による単独直営 <input type="checkbox"/> 委託 (<input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO) <input type="checkbox"/> 協働・協力 ()	

2. 実施結果

事業の 予算・実績	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
		執行額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
	ちびっ子プール補助金事業					
	事業費	1,569	1,632	1,632	1,632	1,632
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	1,569	1,632	1,632	1,632	1,632
	人件費	2,739.6	821.88	821.88	821.88	821.88
投入 人員	常勤職員	0.4人	0.12人	0.12人	0.12人	0.12人
	非常勤職員	0人	0.13人	0.13人	0.13人	0.13人
	事業費+人件費	4,309	2,454	2,454	2,454	2,454

目標達成状況	指標名		単位	説明・算定式	H27目標 H27実績	H28目標 H28実績	H29目標 H29実績
	活動①	補助件数	件	1施設あたり40,500円	37	37	37
活動②	ちびっ子プール開設箇所	カ所		37	37	37	
成果①	ちびっ子プール開催日数	日	開設された全ちびっ子プールの平均	20	20	20	
成果②	ちびっ子プール延利用者数	人		16	16	—	
				12,000	12,000	12,000	
				13,179	11,027	—	

目標達成状況の分析	<p>B：活動・成果のいずれかを達成した。</p> <p><判断理由> 成果目標の一部を達成した。 事業目的の達成のため、各町会には、町会加入・未加入に関係なく訪れた子供たちを受け入れてもらえるようお願いしているが、天候の影響等もあり、利用者数は昨年度より減少した。しかしながら、ちびっこプールの利用者は11,000人を超えており、需要の高い事業であることから、今後も継続を図っていく。</p>
-----------	---

3. 評価結果

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	26年度	27年度	28年度	A：施策の目標達成に大いに貢献している。
	A	A	A	<判断理由> 町会内の公園にあるちびっこプールは、親と子のふれあいの場や地域のコミュニティを構築する機会として活用されており、魅力ある公園づくりに貢献している。
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	26年度	27年度	28年度	B：経費は適正な範囲である。
	B	B	B	<判断理由> 各地域に設けられた同プールは、少なくない維持管理費が必要だが、暑い夏に、子育て世代が地域の方々と顔見知りになれる絶好のコミュニティ構築の機会であり、各町会が主体となり運営され、利用者数が11,000人を超えていることから、経費は適正の範囲にある。
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	26年度	27年度	28年度	B：事業手法は適正な内容である。
	B	B	B	<判断理由> ちびっこプールの開催にあたっては、市はプールの維持や運営支援を行い、各町会は運営を行う官民協働にて実施しており、事業手法は魅力ある公園づくりに適正である。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	26年度	27年度	28年度	B：受益・負担は適正な範囲である。
	B	B	B	<判断理由> ちびっこプールを利用され、その地域で生活する親子には、地元への愛着が生まれると同時に、地域や町会に繋がることで、プールを利用されない町会の方々と顔見知りになれるなど、地域のコミュニティ形成という観点から大きな受益であることから、この受益・負担は適正の範囲にある。

4. 平成28年度中に実施した見直し内容

見直し内容	ちびっこプールの運営を各町会が主体的に行われている中で生じた課題や要望について、各町会と市の役割と責任に応じて、臨機応変に対応した。
見直しの効果	ちびっこプール運営における課題や要望に対して、臨機応変に対応することで、町会独自の地域にあった自主的な運営が可能になった。

5. 今後の方針

事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 1 現状で継続 <input type="radio"/> 2 拡大して継続 <input type="radio"/> 3 縮小して継続 <input type="radio"/> 4 他事業と統合 <input type="radio"/> 5 休止 <input type="radio"/> 6 その他見直し <input type="radio"/> 平成30年度で終了 <input type="radio"/> 平成29年度で終了 <input type="radio"/> 平成28年度で終了
	<判断理由> ちびっこプールは、夏場の2カ月程度の利用であることから、維持管理について検討の余地がある。今後は、ランニングコスト、管理主体、二次的利用等を検証し、ちびっこプールの良い運営方法について検討を進める。
今後の取組方針	ちびっこプール補助金事業については、地元町会の意向を確認しながら取り組んでいく。その結果、住民コミュニティを育む素晴らしい公園づくりにつながるように、当該事業を通じて、ちびっこプールの運営主体を応援していく。

事務事業名	7485 公園維持管理事業													
担当組織	環境経済部 みどり公園課								担当	公園担当				
組織コード	H29	15	06	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	H29	01	08	04	06	03	02	記入日	平成29年06月06日
	H28	15	06	00		H28	01	08	04	06	03	02		

1. 事務事業の概要

総合振興計画上の位置づけ												実施計画候補		
基本目標	04	緑と潤いのあるまち										○ 対象		
分野	02	公園・水辺										● 対象外		
施策	40	魅力ある公園づくり												
事業期間	～平成32年度													
根拠法令 通達等	都市公園法2条の3					関連計画 施政方針	都市マスタープラン 緑の基本計画							
事業区分	○ 法定受託事務 ○ 自治事務のうち義務的なもの ● 自治事務のうち任意のもの													
ISO14001	○ 1. 環境創出事業 ○ 2. 施設方針書 ● 3. 環境配慮事業 ○ 4. 対象外													
対象	市民、公園利用者等													
事業目的	公園等に訪れる方々が安心して利用できるように、適切な維持管理を行う													
事業内容	公園の樹木・施設物（球場を含む）の維持管理													
実施主体	<input type="checkbox"/> 市による単独直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 (<input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・NPO) <input checked="" type="checkbox"/> 協働・協力 ()													

2. 実施結果

事業の 予算・実績	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
		執行額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
	公園施設や街路樹の適切な管理・公園管理業務委託					
	事業費	366,773	389,582	390,000	350,000	350,000
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0
	その他	0	8,892	0	0	0
	一般財源	366,773	380,690	390,000	350,000	350,000
	人件費	7,602.39	6,712.02	6,712.02	6,712.02	6,712.02
投入 人員	常勤職員	1.11人	0.98人	0.98人	0.98人	0.98人
	非常勤職員	0人	0.06人	0.06人	0.06人	0.06人
	事業費+人件費	374,375	396,294	396,712	356,712	356,712

目標達成状況	指標名	単位	説明・算定式	H27目標	H28目標	H29目標
				H27実績	H28実績	H29実績
活動①	業務委託件数	件	業務委託契約件数	29	29	30
				29	29	-
活動②						-
成果①	業務委託執行率	%	業務委託報告書提出率	100	100	-
				100	100	-
成果②						-

目標達成状況の分析	A：活動・成果ともに達成した。 <判断理由> 当該年度は目標を達成することが出来た。					
-----------	--	--	--	--	--	--

3. 評価結果

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	26年度	27年度	28年度	B：施策の目標達成に貢献している。
	B	B	B	<p><判断理由></p> <p>身近な場所である公園・緑地・緑道等の植栽を適切に管理することにより、安心してみどりと触れ合う空間が保たれる。また、施設物の故障・破損などに即座に対応することにより利用者の安全が確保することが、身近で魅力ある公園につながることから、施策の目標達成に貢献している。</p>
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	26年度	27年度	28年度	B：経費は適正な範囲である。
	B	B	B	<p><判断理由></p> <p>樹木の生長期間及び植栽場所に注目し、隔年剪定を実施することで経費の抑制を図っており、事業費等の水準は適正である。</p>
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	26年度	27年度	28年度	A：事業手法は工夫され、非常に効率的・効果的である。
	A	A	A	<p><判断理由></p> <p>民間企業に業務を委託することで、細やかで速やかな対応が可能となった。</p>
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	26年度	27年度	28年度	B：受益・負担は適正な範囲である。
	B	B	B	<p><判断理由></p> <p>公園・緑地・緑道等を適正に維持管理することで、まちの景観等を向上させ、公園等周辺の地域に緑による潤いを与えられることから、受益・負担は適正な範囲にある。</p>

4. 平成28年度中に実施した見直し内容

見直し内容	経費削減を図るため、修繕等の見積りにおいては、複数の業者から見積りを取り寄せて経費の抑制を図った。
見直しの効果	新たな、既存の委託業務内容の見直しを行いながら歳出経費の削減を図ることができた。

5. 今後の方針

事業の方向性	<input type="radio"/> 1現状で継続 <input checked="" type="radio"/> 2拡大して継続 <input type="radio"/> 3縮小して継続 <input type="radio"/> 4他事業と統合 <input type="radio"/> 5休止 <input type="radio"/> 6その他見直し <input type="radio"/> 平成30年度で終了 <input type="radio"/> 平成29年度で終了 <input type="radio"/> 平成28年度で終了
	<p><判断理由></p> <p>市民の環境への意識が高まる中、公園・緑地・緑道等のオープンスペースへのニーズは拡大傾向にある反面、開設から約30年あまり経過した公園において、生長した樹木の管理経費、老朽化した施設の維持管理費の増大が懸念されている。これらに加えて、全庁的な予算削減の影響により、公園維持管理費の予算計上が難しくなったが、既存の委託業務内容を見直すことにより経費を捻出するなどの工夫を行い対応している。</p> <p>しかしながら、今後、都市整備事業の進捗に伴い新設公園が開設されることから、予算規模の拡大を要望し、当該事業を推進する必要がある。</p>
今後の取組方針	市内の公園・緑地・緑道等の維持管理について、指定管理者制度導入の検討をおこなっていく必要がある。また、年々増大する経費を抑制すべく、町会委託など地域住民の手による維持管理の推進を検討していく必要がある。

事務事業名	7620 公園施設整備・改修事業													
担当組織	環境経済部 みどり公園課								担当	公園担当				
組織コード	H29	15	06	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	H29	01	08	04	06	04	02	記入日	平成29年06月06日
	H28	15	06	00		H28	01	08	04	06	04	02		

1. 事務事業の概要

総合振興計画上の位置づけ		実施計画候補
基本目標	04 緑と潤いのあるまち	● 対象 ○ 対象外
分野	02 公園・水辺	
施策	40 魅力ある公園づくり	
事業期間	～平成32年度	
根拠法令 通達等	都市公園法3条 「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」(バリアフリー新法)	関連計画 施政方針
事業区分	○ 法定受託事務 ○ 自治事務のうち義務的なもの ● 自治事務のうち任意のもの	
ISO14001	○ 1. 環境創出事業 ○ 2. 施設方針書 ● 3. 環境配慮事業 ○ 4. 対象外	
対象	市民、幼児から成人、高齢者や障害者等の公園利用者	
事業目的	公園利用者の誰もが安心して安全に利用しやすい施設づくりと、快適な公園づくりを目指す。	
事業内容	①新設公園整備②公園施設の改修③ちびっ子プール塗装④公園出入口の段差改良等(バリアフリー化)⑤砂場の改修⑥公園時計設置⑦老朽遊具の更新⑧ちびっ子プール撤去	
実施主体	□市による単独直営 ■委託 (□3セク・財団 ■企業 □市民・NPO) ■協働・協力 ()	

2. 実施結果

事業の 予算・実績	事業内容		平成28年度 執行額(千円)	平成29年度 予算額(千円)	平成30年度 計画額(千円)	平成31年度 計画額(千円)	平成32年度 計画額(千円)	
	事業内容		戸田公園商業調査・1号公園設計・プール塗装・砂場		1号公園1期整備・プール撤去及び塗装・北部公園パ	1号公園2期整備・プール塗装・ソーラー時計・公園	9号公園整備・プール塗装・ソーラー時計・公園遊具	プール塗装・ソーラー時計・公園遊具改良・改修等
事業費			114,184	145,377	224,310	138,917	167,900	
財源内訳	国庫支出金		0	0	0	0	0	
	県支出金		0	0	0	0	0	
	起債		0	57,600	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	0	
	一般財源		114,184	87,777	224,310	138,917	167,900	
人件費			27,532.98	9,999.54	9,999.54	9,999.54	9,999.54	
投入 人員	常勤職員		4.02人	1.46人	1.46人	1.46人	1.46人	
	非常勤職員		0人	0.02人	0.02人	0.02人	0.02人	
事業費+人件費			141,717	155,377	234,310	148,917	177,900	
目標達成 状況	指標名		単位	説明・算定式		H27目標 H27実績	H28目標 H28実績	H29目標 H29実績
	活動①	バリアフリー化公園数	箇所	整備公園数		1	1	0
	活動②	砂場改修数	箇所	整備公園数		0	0	-
	成果①	バリアフリー化公園整備率	%	整備済公園数/整備必要公園数		2	2	0
	成果②	砂場改修率		%	整備済公園数67/整備必要公園数82	0	1	-
						64	64	64
目標達成 状況 の分析		B: 活動・成果のいずれかを達成した。 <判断理由> 平成28年度は要求する予算額が確保出来なかったため、トイレ改修等の緊急性の高い施設改良・改修に重点を置いて、バリアフリー化は次年度以降に先送りしたことから、活動目標を達成することができなかった。						

3. 評価結果

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	26年度	27年度	28年度	B：施策の目標達成に貢献している。
	B	B	B	<判断理由> 誰もが安心して安全に公園が利用できるように、公園施設を整備・改修することで、魅力ある公園の実現を図っており、施策の目標に貢献している。
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	26年度	27年度	28年度	B：経費は適正な範囲である。
	A	B	B	<判断理由> 公園の新設・改修時には、公園全体にユニバーサルデザインを取り入れた施設整備を行い、部分的な施設改修には、安全・安心な遊具選定と配置を行う設計と工事を行うなど、効果の大きい工事に事業費を効率的に配分しており、経費は適正の範囲にある。
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	26年度	27年度	28年度	B：事業手法は適正な内容である。
	C	C	B	<判断理由> 公園の改修・新設には、ワークショップ等により利用者等の意見をお聞きしながら、公園整備のコンセプトを検討した上で、設計・工事を行っていることから、事業手法は適正な内容である。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	26年度	27年度	28年度	B：受益・負担は適正な範囲である。
	B	B	B	<判断理由> 老若男女の利用者が互いに譲り合いながら、公園のルールに則り、自由に使用できるように、安全・安心に配慮しながら、事業が執り行われているので、受益・負担の適正化は図られている。

4. 平成28年度中に実施した見直し内容

見直し内容	特になし。
見直しの効果	特になし。

5. 今後の方針

事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 1 現状で継続 <input type="radio"/> 2 拡大して継続 <input type="radio"/> 3 縮小して継続 <input type="radio"/> 4 他事業と統合 <input type="radio"/> 5 休止 <input type="radio"/> 6 その他見直し <input type="radio"/> 平成30年度で終了 <input type="radio"/> 平成29年度で終了 <input type="radio"/> 平成28年度で終了
	<判断理由> 今後、公園が新設されていく地区と公園施設が老朽化する地区において、双方の公園施設内容の均衡を保つため、様々な補助金の活用を図りながら事業を推進する。
今後の取組方針	老朽化した公園施設は、公園施設長寿命化計画に基づいて改修・改良を行い、更新を進める。これと同時に、土地区画整理事業の都市整備事業により整備された公園予定地には、県補助金等の補助金を活用して公園施設の整備・改修を図っていく。

事務事業名	27525 荒川水循環センター上部利用計画事業													
担当組織	環境経済部 みどり公園課								担当	公園担当				
組織コード	H29	15	06	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	H29	01	08	04	06	04	03	記入日	平成29年06月06日
	H28	15	06	00		H28	01	08	04	06	04	03		

1. 事務事業の概要

総合振興計画上の位置づけ												実施計画候補	
基本目標	04	緑と潤いのあるまち										○ 対象	
分野	02	公園・水辺										● 対象外	
施策	40	魅力ある公園づくり											
事業期間	平成20年度～平成32年度												
根拠法令 通達等	下水道事業における環境対策施設の整備について (平成11年1月11日・通知)					関連計画 施政方針		「彩の国アーバンアクア広場計画」 「戸田市荒川処理センター上部利用計画」 「戸田市都市マスタープラン」					
事業区分	○ 法定受託事務 ○ 自治事務のうち義務的なもの ● 自治事務のうち任意のもの												
ISO14001	○ 1. 環境創出事業 ● 2. 施設方針書 ○ 3. 環境配慮事業 ○ 4. 対象外												
対象	市民並びに市外者												
事業目的	埼玉県が進めている「彩の国アーバンアクア広場計画」、並びに、平成15年に策定された「戸田市荒川処理センター上部利用計画」に基づいて戸田市荒川処理センターの上部空間の有効活用を図る												
事業内容	平成21年度に、戸田市荒川処理センターの上部空間（全面積5.6ha）の一部が整備され、暫定的に供用（埼玉県が整備）された。平成30年度内の全面供用を目指し、公園管理棟や運動施設の整備について、埼玉県、関係団体、地元協議会等と協議・調整を図り、上部空間の整備を図っている												
実施主体	<input type="checkbox"/> 市による単独直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 (<input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO) <input type="checkbox"/> 協働・協力 ()												

2. 実施結果

事業の 予算・実績	事業内容		平成28年度 執行額(千円)	平成29年度 予算額(千円)	平成30年度 計画額(千円)	平成31年度 計画額(千円)	平成32年度 計画額(千円)	
	事業費		83,300	188,045	80,000	80,000	80,000	
	財源 内訳	国庫支出金	0	9,000	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		起債	0	135,400	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
	一般財源		83,300	43,645	80,000	80,000	80,000	
	人件費		9,246.15	5,068.26	5,068.26	5,068.26	5,068.26	
	投入 人員	常勤職員	1.35人	0.74人	0.74人	0.74人	0.74人	
		非常勤職員	0人	0.05人	0.05人	0.05人	0.05人	
事業費+人件費		92,546	193,113	85,068	85,068	85,068		
目標 達成 状況	指標名		単位	説明・算定式		H27目標 H27実績	H28目標 H28実績	H29目標 H29実績
	活動 ①	地元懇談会の開催	回	2団体×1	1	1	1	
					1	1	-	
	成果 ①	懇談会参加人数	人	1回×20	20	20	20	
					56	27	-	
成果 ②						-		
目標達成 状況 の 分析	A：活動・成果ともに達成した。 <判断理由> 当該年度は目標を達成することが出来た。							

3. 評価結果

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	26年度	27年度	28年度	B：施策の目標達成に貢献している。
	B	B	B	<p><判断理由></p> <p>下水処理センターの上部空間は、都市部の貴重なオープンスペースとなっている。この空間を多くの方が広く利用できるように、地元と調整を図りながら、特徴的で魅力ある公園を目指しており、施策の目標達成に貢献している。</p>
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	26年度	27年度	28年度	A：経費の精査が十分になされている。
	A	A	A	<p><判断理由></p> <p>埼玉県の本庁等の協議を行い、地元の意見を反映させ、十分な設計・積算の精査がなされ、入札等を経て、上部公園が施工されていることから、経費の精査が十分になされている。</p>
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	26年度	27年度	28年度	B：事業手法は適正な内容である。
	C	C	B	<p><判断理由></p> <p>平成27年度の埼玉県工事の遅れに伴い、上部公園の全面供用の開始年度を改めたことから、平成30年度内の全面供用に向けて、順調に工事並びに準備が進んでおり、事業手法は適正な内容である。</p>
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	26年度	27年度	28年度	B：受益・負担は適正な範囲である。
	B	B	B	<p><判断理由></p> <p>地域の住民は元より、広く市民の方々が利用できる上部施設を整備することから、受益・負担は適正な範囲にある。</p>

4. 平成28年度中に実施した見直し内容

見直し内容	埼玉県の基盤整備が遅れたため、平成27年度に供用開始時期を平成30年度に改め、本年度は特に見直す内容もなく予定通り県発注の受託工事を完了した。
見直しの効果	上部利用の供用開始時期を平成30年度に改めたため、順調に、整備工事が進んでいる。

5. 今後の方針

事業の方向性	<input type="radio"/> 1 現状で継続 <input checked="" type="radio"/> 2 拡大して継続 <input type="radio"/> 3 縮小して継続 <input type="radio"/> 4 他事業と統合 <input type="radio"/> 5 休止 <input type="radio"/> 6 その他見直し <input type="radio"/> 平成30年度で終了 <input type="radio"/> 平成29年度で終了 <input type="radio"/> 平成28年度で終了
	<p><判断理由></p> <p>平成22年7月1日に一部オープンした（仮称）荒川水循環センター上部公園は、埼玉県が主体となり水処理施設の一部の人工地盤を整備し緑化をおこなった。市は、平成15年2月に策定された「戸田市荒川処理センター上部利用計画」に基づき、地元協議会と調整を重ねた結果である施設の整備方針を市議会に諮り、埼玉県に新アクセス路を要望したところ、県が平成28年度から工事に着手され、平成30年度の工事完成を目指している。</p> <p>これに並行して、本市は、次年度にイベント交流広場・管理棟の建築工事に着手すると共に、平成30年度の（仮称）上部公園の全面供用を目指していることから、拡大して継続する必要がある。</p>
今後の取組方針	市が発注するイベント交流広場・管理棟の建築工事にあたっては、錯綜する埼玉県の新アクセス路整備と調整しながら、平成29年度内の工事完成を目指すと共に、施設供用にあたっての準備を進める。

事務事業名	23820 公園等管理台帳事業													
担当組織	環境経済部 みどり公園課								担当	公園担当				
組織コード	H29	15	06	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	H29	01	08	04	06	04	01	記入日	平成29年06月06日
	H28	15	06	00		H28	01	08	04	06	04	01		

1. 事務事業の概要

総合振興計画上の位置づけ												実施計画候補	
基本目標	04	緑と潤いのあるまち										○ 対象 ● 対象外	
分野	02	公園・水辺											
施策	40	魅力ある公園づくり											
事業期間	平成16年度～平成32年度												
根拠法令 通達等	都市公園法第17条第2項						関連計画 施政方針	統合型GISシステム					
事業区分	○ 法定受託事務 ○ 自治事務のうち義務的なもの ● 自治事務のうち任意のもの												
ISO14001	○ 1. 環境創出事業 ○ 2. 施設方針書 ● 3. 環境配慮事業 ○ 4. 対象外												
対象	市民、公園利用者												
事業目的	事務の効率化、市民サービスの向上を目的として、統合型GISとの整合を基本にデータの一元化整備を図る												
事業内容	①既存資料から公園施設・樹木の現地調査 ②現地調査等で得られたデータの整備 ③GISによる市民への情報提供												
実施主体	<input type="checkbox"/> 市による単独直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 (<input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO) <input type="checkbox"/> 協働・協力 ()												

2. 実施結果

事業の 予算・実績	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
		執行額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業内容	・改修等によるデータ更新 ・保守点検	・改修等によるデータ更新 ・保守点検	・改修等によるデータ更新 ・保守点検	・改修等によるデータ更新 ・保守点検	・改修等によるデータ更新 ・保守点検	
	事業費	1,426	1,426	1,426	8,888	1,500	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	1,426	1,426	1,426	8,888	1,500	
	人件費	3,835.44	958.86	958.86	958.86	1,232.82	
投入 人員	常勤職員	0.56人	0.14人	0.14人	0.14人	0.18人	
	非常勤職員	0.05人	0.08人	0.08人	0.08人	0.08人	
	事業費+人件費	5,261	2,385	2,385	9,847	2,733	
目標達成 状況	指標名		単位	説明・算定式	H27目標 H27実績	H28目標 H28実績	H29目標 H29実績
	活動①	業務委託件数	件		1	1	1
	活動②	紙ベース資料の電子化	件		1	1	1
	成果①	業務委託完了率	%		100	100	100
	成果②	インターネット配信実行率	%		100	100	100
					100	100	100
目標達成 状況 の分析	A：活動・成果ともに達成した。 <判断理由> 当該年度は達成できた。						

3. 評価結果

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	26年度	27年度	28年度	B：施策の目標達成に貢献している。
	B	B	B	<判断理由> いいとだパークをとおして公園情報を提供している。
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	26年度	27年度	28年度	B：経費は適正な範囲である。
	B	B	B	<判断理由> 四半期毎の保守点検も滞ることなく実施され、システムも問題なく稼働した。
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	26年度	27年度	28年度	B：事業手法は適正な内容である。
	B	B	B	<判断理由> 民間企業に業務を委託することで、速やかな対応が可能となった。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	26年度	27年度	28年度	B：受益・負担は適正な範囲である。
	B	B	B	<判断理由> 本事業、は市民の共通の財産である公園の情報提供を司るシステムであり、受益・負担は適正の範囲にある。

4. 平成28年度中に実施した見直し内容

見直し内容	特になし
見直しの効果	特になし

5. 今後の方針

事業の方向性	<input type="radio"/> 1 現状で継続 <input type="radio"/> 2 拡大して継続 <input type="radio"/> 3 縮小して継続 <input type="radio"/> 4 他事業と統合 <input type="radio"/> 5 休止 <input checked="" type="radio"/> 6 その他見直し <input type="radio"/> 平成30年度で終了 <input type="radio"/> 平成29年度で終了 <input type="radio"/> 平成28年度で終了
	<判断理由> 修繕等を要する苦情処理は、受付⇒現地確認⇒【修繕・剪定・伐採発注伺い】⇒業者へ発注⇒現地完了確認⇒【支払処理】⇒【台帳の更新】の順で処理されているが、【 】内の帳票処理が各々個別に処理されているため台帳の更新が遅滞している状態である。 都市公園占用業務においては、新規申請・廃止の受付⇒【許可書の発行】⇒【台帳の更新】の順で処理されているが、【 】内の帳票処理が各々個別に処理されているため、台帳の更新が遅滞している状態である。
今後の取組方針	修繕等を要する苦情処理業務、都市公園占用業務の処理をできる機能など必要な機能を追加することにより、業務の効率化をはかり、職員の負担を軽減すると共に台帳の見直しを図っていきたい。